

郡山市初 商用定置式水素ステーション始動

郡山市に本日、水素ステーションや急速充電器、最新式洗車機などを備えた「エネルギーPark郡山南」が開所します。商用定置式の水素ステーションは、県内ではいわき市に次いで二カ所目、郡山市では初の設置です。

水素で走る燃料電池車で1時間当たり5～6台分、1日当たり最大で約50台分の水素の供給が可能となります。地域社会への新エネルギーのさらなる普及に大きな期待が集まります。



「エネルギーPark郡山南」に設けられた水素ステーション

エネルギーPark郡山南 施設概要



所在地

郡山市安積荒井二丁目55番地

電話

024-946-6267

村佐藤燃料株式会社

<https://www.satonenryo.com/>

水素ステーション

営業時間／9:00～17:00 ※2月8日(火)は14:00～

定休日／毎週水・日曜日

※2月9日(水)と2月13日(日)は営業

充填能力／300Nm³/h (1時間あたり、約6台の満充填が可能)

決済方法／各種クレジットカード(現金のご利用はできません)

メンバーズカード(法人のみ、事前申込要)

その他／専任スタッフが充填いたします

(セルフではありません)

ガソリン・軽油・灯油エリア

営業時間／364日 24時間セルフ営業 ※1月1日は休業

急速充電エリア

営業時間／364日 24時間営業 ※1月1日は休業
(現金でお支払いの場合のみ、9:00～20:00)

洗車エリア

営業時間／364日 7:00～20:00 ※1月1日は休業

暮らしとエネルギーの未来をひらく。

万延元年(1860年)の創業以来、文久・元治・慶応・明治・大正・昭和・平成、そして令和に至るまでの162年に渡って地域の皆さんに支えられ、ボーキ佐藤グループは発展してきました。その間に時代は刻々と変化してきましたが、その変化に対応することでお客様のご愛顧をいただけてきました。

本日は、オープンする「エネルギーPark郡山南」は水素はもとより、ガソリン、軽油、灯油、急速充電器を兼ね備えています。燃料電池車、ガソリン車、ディーゼル車、電気自動車のすべてに対応し、さらに郡山随一の最新式洗車機も設置した未来型ステーションです。皆様には文字通り、公園のように気軽に集まりいただきたいと考え、命名しました。

エネルギーの観点で歴史を振り返ると、石炭というエネルギーの出現によって産業革命が起こり、社会構造に激変がもたらされました。馬車が自動車になり、ろくろがランブになるなど、人々の暮らしはエネルギーの変化とともに変わってきたのです。当社のDNAは歴史が物語る通り、変わりゆく時代の中で開拓精神により時代を切り拓いてきたものと自負しています。水素ステーションへの挑戦は、カーボンニュートラルが叫ばれる中、石油依存からの脱却のために、石油を主に販売してきた当社だからこそ、取り組みなければならぬと考えました。私

ボーキ佐藤燃料株式会社



ボーキ佐藤が創業した郡山は、戊辰戦争で町の約8割が焦土と化し、そこに新しい街づくりを目指した郡山商人が集まりました。明治6(1873)年、その郡山商人25人が出資し「開成社」が設立されました。大規模の開拓をスタートしますが、この中の1人がボーキ佐藤株式会社(創業)佐藤傳吉です。その後、大久保利通が安積開拓と安積疏水を国家事業として取り組み、大久保が安積開拓により頓挫しかけた。しかし、この難局を乗り越えて、この一大事業が成し遂げられたのです。明治22(1889)年、ボーキ佐藤商店(当時)はサミュエル商会(シエルの前身)の代理店となります。明治33(1900)年、サミュエル商会が石油部門を独立させ、ライジングサン石油に変わり、ボーキ佐藤商店は東北で最初の

村佐藤燃料の歴史



代理店となりました。石油製品の取り扱い扱いは灯油が最初で当時、灯油の用途はランブが主でした。写真の木箱は、船を使って灯油が運搬されていた当時のものです。この箱に「一斗缶が二缶詰められ、猪苗代湖を運ばれました。昭和24(1949)年、ボーキ佐藤商店石油部を日英石油販売株式会社とし、家庭向けLPガス、灯油、自動車用燃料、産業用燃料、各種潤滑油などのエネルギーを取り扱うようになりました。昭和52(1977)年、日英石油販売は佐藤燃料に社名を変更。現在はカービジネス事業、電力事業、IT関連事業、保険事業、介護事業まで幅広くサービスを提供しています。

2月8日(火)

14:00 OPEN

水素、ガソリン、軽油、灯油、電気を供給

木 佐藤燃料株式会社「エネルギーPark郡山南」開所

この度は、佐藤燃料株式会社様と日本水素ステーションネットワーク合同会社様の共同により、本市初となる商用定置式水素ステーション「エネルギーPark郡山南」が開所されますこと、誠にありがとうございます。

現在、世界各国では、COP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)を共通の理念とし、気候変動に対する挑戦が進められており、本市におきましても、「誰一人取り残さない持続可能な社会を目指すSDGsの理念のもと、2050年カーボンニュートラルを



郡山市長

品川 萬里

カーボンニュートラル・シティ・郡山の実現に向けて

小職が勤める産業技術総合研究所(産総研)のFREAでは、再生可能エネルギーと水素の研究開発を行っています。2014年の開所当時、水素はなかなか理解が得られませんでした。現在では環境性の理解が進み、福島県内でFCVは330台を超えています。ただ、急激なFCVの伸びにより、水素ステーションからの水素の供給が不足しがちな状況が続いていました。このような中、待ち望まれた定置用ステーションとして、「エネルギーPark郡山南」がオープンします。この水素



郡山市水素利活用促進研究会会長
(国研)産業技術総合研究所
福島可能エネルギー研究所FREA
再生可能エネルギー研究センター長
古谷 博秀

水素利活用の推進に向けて



燃料電池車、電気自動車、ガソリン車、ディーゼル車、全てに対応する「エネルギーPark郡山南」



ドライブスルー洗車機

最新型のドライブスルー洗車機も設置。ブロー時の音が静かで、子どもも怖がりません。

- ◇最短約60秒で洗車完了(シャンプー洗車)
- ◇拭き上げ(仕上げ)スペース/9台
- ◇拭き上げ時のタオル無料貸し出し



EV用急速充電装置も設置

未来型サービスステーションであるエネルギーPark郡山南にはEV用の急速充電装置も設置されています。

- ◇充電可能台数/1台
- ◇充電所要時間/約30分

郡山市水素利活用推進研究会について

水素・燃料電池関連産業の誘致や、産学官連携による技術開発・共同研究を目的に平成30(2018)年8月に設立されました。郡山市や研究機関、企業などの代表者が水素社会の実現に向けた水素利活用の拡大のため、商用定置式水素ステーションの導入やモビリティによる水素利活用について協議や意見交換を行っています。

これまでに国内企業の先進事例を学ぶ講演会や、水素を利用した燃料電池車などの展示見学会などを実施し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

水素を活用した企業の取り組みについて学ぶ研究会



セルフ給油エリアでプレゼントキャンペーン実施

2月11日(金)~13日(日)

9:00~18:00

ガソリン・乗用車軽油15ℓ以上給油で

BOXティッシュ5箱パックをプレゼント

apollostationカードのWEB加入キャンペーンや、サービスステーションで利用できるアプリ「Drive On」のダウンロードキャンペーンを実施中です。